



箕面市立第一中学校
第75期生進路だより

No. 2 令和3年(2021年)4月28日

■今できることを、少しずつ…

大阪に、「緊急事態宣言」が4月25日(日)から5月11日(火)まで発出されました。ゴールデンウィークに予定されていた部活動の公式大会や発表会も、多くが中止または延期となりました。日々、あたりまえに過ごしてきたことが、とてもありがたいことだったんだなあと改めて気づかされます

さて、30日(金)は「第1回校内学力考査」です。学力考査は年間4回予定されています。学力考査は、今の自分の実力がどの程度かをはかる大切なテスト(模擬試験)です。多くの教科で、「3年間の総復習」という、1・2年生の時にはなかった問題集が配られています。これは、受験に備え、問題集を解きながら、既習事項の復習をしてくださいということです。

予定がなくなってしまったゴールデンウィークをどうやって過ごそうか、と考えている受験生のみなさん。まずは、規則正しい生活を心がけましょう。そして、決まった時間机に向かい復習しましょう。でも、一日中勉強ばかり…では、心もからだも持ちません。本を読む、音楽を聴く、からだを動かす、などといった趣味の時間も大切にしてください。そして日頃なかなかできない家のお手伝いを、ぜひしてほしいと思います。要はバランスの良い生活が大切ですね。

■進路情報誌「開けゆく未来に向かって」

高校から、学校案内が届き始めています。みなさんの手元にもオープンキャンパスの案内チラシや学校案内のリーフレットが配付されてはじめました。3年生の学年フロアには、各高校から届いたポスターやチラシを掲示しています。各教室には、高校案内のパンフレットを置いています。

みなさんは、これから様々な情報に接することになります。まだまだ、具体的な進路について、イメージできていない人も多いのではないのでしょうか。心配しなくても大丈夫、焦る必要は全くありません。今は、自分のできることを一つずつ進めていくことです。

しかし、一つ言えるのは、あと数か月後には義務教育が終了し、一人ひとりが、自分の進む道を自分で選択し、決定しなければいけないということです。

5月に、進路選択で大切にしてほしいことや、どのような進学先があるのか、入試の仕組みなどの情報をまとめた、「開けゆく未来に向かって」という進路情報誌を配付します。

この誌面上で、その内容を少しずつ紹介していきます。



☆ 中学卒業後の進路

(1) **進学**……義務教育は中学校で終了しますが、ほとんどの中学卒業生(98.5%)がさらに高度な知識や技能を修得するために、高等学校をはじめとする各種の学校へ進学します。

- ① **高等学校**……修業年限は原則として3年間で、卒業後は約1.8割が就職、約2割が専門学校、約6割が大学に進学します。
 - ② **高等専門学校(高専)**……専門知識に関する授業を通して職業に必要な能力を育成し、中堅幹部としての専門技術者を養成します。修業年限は5年間で、3年修了時や卒業後に、大学に入る道も開かれています。各都道府県に1校ぐらいあり、ロボコンでおなじみの**工業高専**と**商船高専**があります。大阪府には「**府立大学工業高専**」があります。
 - ③ **支援教育諸学校**……支援学校や視覚支援学校・聴覚支援学校など、障がいのある生徒を受け入れる学校です。大阪府下には33校の支援学校高等部などが設置されており、障がいの種別や居住地により履修課程や通学区別がきめられています。修業年限は3年間です。本校の付近には「**府立箕面支援学校**」があります。
 - ④ **高等専修学校**……英語・情報処理・商業・服飾デザイン・福祉などの専門的な学習を行います。通信制高校と連携して、普通科目の授業も受けて通信制高校の卒業資格を取ることができる「**技能連携校**」、卒業後に大学入学資格が得られる「**大学入学資格付与指定校**」などがあり、修業年限は原則として3年間です。「**大阪YMCA国際専門学校**」、「**関西外語専門学校**」、「**英風女子高等専修学校**」、「**関西情報工学院**」、「**大阪情報コンピューター高等専修学校 [OIC]**」など多くの学校があります。
 - ⑤ **各種学校**……調理師学校・美容師学校など、**高校教育とは関係なく**専門的な知識と技能の修得を行います。修業年限は1年間か2年間の学校が多く、高卒の資格をとることは基本的にできません。また、中卒者が入学できる学校は限られています。
 - ⑥ **補習校・サポート校**……各種学校に属しますが、修業年限は3年間で、**通信制高校と連携して通信制高校のレポートの指導**をしてくれます。ただし、高等専修学校とは違い、通信制高校のスクーリングには参加する必要があります。美術・音楽・美容など生徒の興味関心に合わせた**専門的な授業**も開講されています。
 - ⑦ **高等職業技術専門校**……厚生労働省が所管する学校で、大阪府下に4校あります。機械・IT・エレクトロニクス・溶接・塗装・建築・木工など多くの専門科があり、教室で専門の知識を学び、実習で技術の基礎を身につけてから就職する学校です。様々な専門技能の資格もとれます。そのため、中学校卒業生だけでなく、いろいろな年齢層の人々が入学してきます。就学期間はほとんど1年間ですが2年間の課程もあります。費用は作業服代などの必要経費がありますが、授業料は無償です。現在、募集はほとんどの科が18歳以上を対象としており、中学校新卒を対象にするのは「**東大阪高等職業技術専門校**」のみになります。
- (2) **就職**……長引く不況と仕事内容の高度化により、中学卒業生の就職率は年々減少の一途をたどっており、大阪府の中卒就職者は0.2%にとどまっています。ハローワークに持ちこまれる求人もほとんどなく、就職希望者があれば個別に仕事を探しています。そのようにしてやっと就職しても、約7割の人が3年以内に辞めてしまうのが現状です。
 - (3) **進路未定**……中学校を卒業しても、進学も就職もしない人です。将来的には進学や就職を考えている人もいますが、十分な社会的サポートがないのが現状です。